



琳派展Ⅹ

神坂雪佳 - 京琳派ルネサンス -



開催要綱

HOSOMI MUSEUM

2007.9.22 sat — 12.16 sun



I 雪佳の魅力



四条派に学んだ雪佳は、装飾芸術として評価の高かった光悦や光琳に共感し、「光琳の再来」とまで評される作品を打ち出した。伝統を踏襲しながらも明快な雪佳の作品は、近代琳派として親しまれている。



神坂雪佳 十二ヶ月草花園



神坂雪佳 四季草花園屏風

その他の主な出品作品

神坂雪佳 白鳳図

神坂雪佳 金魚玉図

Ⅱ 琳派への憧れと古画学習



江戸初期にはじまる琳派に強い関心を抱いた雪佳は、光悦や光琳を検証し、彼らの作品を蒐集していた。また、伝統的なやまと絵や風俗画についても熱心に学んでいた。初公開となる雪佳旧蔵の作品や、雪佳が描いた版本類から雪佳スタイルの源に迫る。



俵屋宗達/下絵 隆達節断筒



神坂雪佳ほか 『風俗画譜』



神坂雪佳ほか 『歴史画譜』

その他の主な出品作品

尾形宗謙/書 和歌巻

中村芳中 枝豆露草図屏風

Ⅲ 生活を彩るもの



一人の画家としてだけでなく、身近なものへ美を注ぐために、図案家としての自覚を強めた雪佳は、京の工芸界が新たな道を模索していた当時、作り手たちと研究グループを立ち上げ、染織、陶芸、漆器へ独特の優れたデザインを提供した。



神坂雪佳/下絵
河村蜻山/作 菊花透し彫鉢



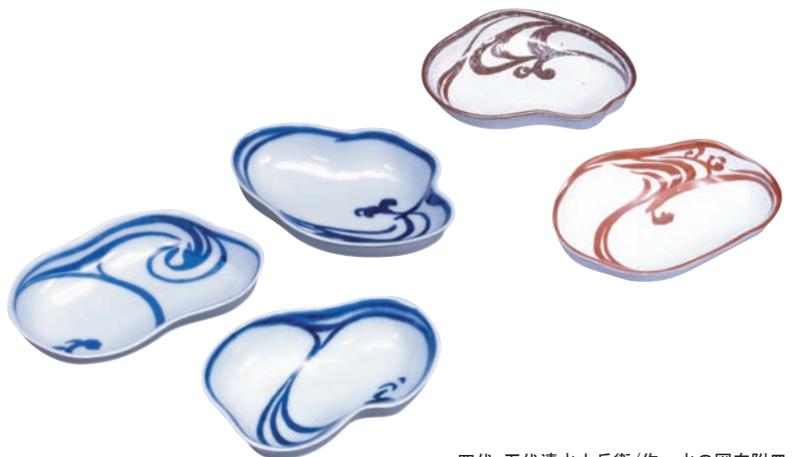
神坂雪佳/図案
神坂祐吉/作 柿蒔絵螺鈿文庫



神坂雪佳/図案 秋の野蒔絵螺鈿卓



神坂雪佳/下絵 水の図向附皿

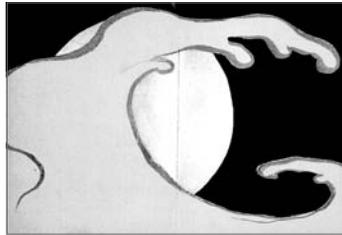


四代・五代清水六兵衛/作 水の図向附皿

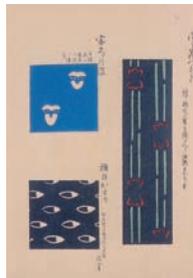
IV 図案家・雪佳の活躍



代表作『百々世草』が海外で評価されたことから、雪佳の図案家としての活動に注目が集まっている。版本類を中心に残された雪佳の意匠は、古来用いられてきた図様やモチーフをもとにしているものも多く、「日本のデザイン」の優れた伝統をも示している。



神坂雪佳 『百々世草』



神坂雪佳 『蝶千種』



神坂雪佳 『滑稽図案』



神坂雪佳 『海路』



神坂雪佳 円窓図案

その他の主な出品作品

神坂雪佳 家具図案集(Ⅱ)

神坂雪佳 蒔絵飾棚略図及手箱並道具巻物軸盆図